

環境技研通信



株式会社 環境技研 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 1709-1 TEL 027-372-5111 営業部発行

第 26 巻第 4 号(通巻 130 号)

7 月号 2024 年 7 月 1 日

〈厚生労働省〉リスクアセスメント 新たに 112 物質について濃度基準値が設定

令和 6 年 4 月から新たな化学物質の自律的管理に関する規制が全て施行となり、リスクアセスメント対象物を製造し、又は取り扱う事業者は、リスクアセスメントの結果に基づき、作業を行う労働者へのばく露をできる限り低減すること等が義務となりました。

事業者は、リスクアセスメント対象物のうち、厚生労働大臣が定めるものを製造し、又は取り扱う業務を行う屋内作業場においては、労働者がばく露される程度を厚生労働大臣が定める濃度の基準(濃度基準値)以下としなければなりません。現在 67 物質に濃度基準値が定められていますが、今般、新たに 112 物質について濃度基準値を定める改正が行われます。



【対象物質名および濃度基準値はこちら (適用日：令和 7 年 10 月 1 日)】

令和 6 年厚生労働省告示第 196 号

<https://www.jawe.or.jp/topics/2024/240508kkj.pdf>



リスクアセスの対象は全ての事業者です。対応はお済でしょうか。不明点ありましたらぜひお問合せ下さい。

個人ばく露測定定着促進補助金のご案内

「個人ばく露測定」を行う事業者に、費用の一部を支援する「個人ばく露測定定着促進補助金」を紹介します。

<https://www.zeneiren.or.jp/bakuro/index.html>



●補助を受けることができる事業主

下表に該当する事業主が作業場の個人ばく露測定を行う場合、補助の対象となります。法令で義務付けられた作業環境測定を実施して第 3 管理区分が改善困難な場合に実施する個人ばく露測定と、金属アーク溶接等作業における個人ばく露測定は対象外となります。

・労働者災害補償保険の適用事業主で、次のいずれかに該当する中小事業主

業種	業種	常時雇用する労働者数※1	資本金または出資の総額※1
小売業	小売業	50 人以下	5,000 万円以下
サービス業	物品賃貸業、宿泊業、娯楽業、複合サービス(例：協同組合)など	100 人以下	5,000 万円以下
卸売業	卸売業	100 人以下	1 億円以下
その他の業種	農・林・漁業、製造業、建設業、運輸業など	300 人以下	3 億円以下

※1 労働者数か資本金のどちらか一方の条件を満たせば、中小企業事業主となります。

●補助の概要

補助対象	上限額
作業環境測定機関に委託する個人ばく露測定及び分析等に要する経費	5 万円

身近な環境問題 ～悪臭・臭気～

悪臭は典型七公害の一つです。特に夏場には気温や湿度の上昇に伴うエアロゾルの発達や菌の繁殖等により悪臭の発生が顕著になります。悪臭の規制には、特定悪臭物質(22物質)による規制と人の嗅覚によって数値化された臭気指数による規制の2種類があります。悪臭の大半が複数物質による複合臭であり、悪臭の規制は、特定悪臭物質規制から臭気指数規制へと移行しつつあります。群馬県では、悪臭規制を定めている全ての市町村で臭気指数規制が採用されています。

臭気指数は「三点比較式臭袋法」という嗅覚測定によって算出されます。これは人の嗅覚による官能試験であり、捕集した試料を希釈した袋1つと無臭空気だけの袋2つの計3つの袋から試料の入った袋の判定を行い、判定が困難になる希釈倍率の対数×10の値が臭気指数となります。



〈試験の様子〉

この試験は臭気判定士1名以上と嗅覚試験に合格したパネルラー6名以上で行います。

臭気の相談等ありましたら、臭気判定士12名在籍、臭気認定事業所である弊社までお気軽にお申し付けください。

第26回インターフェックスWeek東京 🌟ご来場いただきありがとうございました🌟

2024年6月26・27・28日に東京ビックサイトで行われました、第26回インターフェックスWeek東京ファーマラボEXPOに出展しました。

今年は例年よりも多くのお客様に足をお運びいただき、おかげさまで大盛況のうちに終了しました。お越しいただいた皆様、誠にありがとうございました。

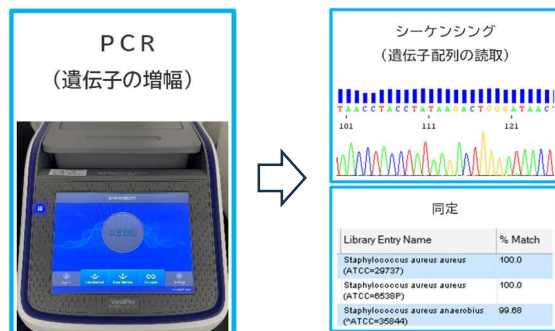


今年のブースの様子です

遺伝子解析による微生物の迅速同定の紹介

新型コロナウイルスの感染拡大により、PCR検査という言葉が浸透しました。これは遺伝子情報であるDNAを複製し、増幅させて検出できるようにする技術です。

具体的には、菌を採取して菌体からDNAを抽出→PCR法で増幅→遺伝子配列を読み取る、という流れになります。弊社では、微生物同定システム(データベース)を導入しており、遺伝子配列から菌を同定することが可能です。



さらに！次世代シーケンサ(NGS)導入

次世代シーケンサ(Next Generation Sequencing)とは、DNAやRNAの配列を迅速に決定する技術です。PCR法では、通常調べられるのは1種類の遺伝子のみですが、次世代シーケンサでは、多数のDNAの配列を同時に解析して決定することができます。

複数の菌が同時に発生してしまうと、目的の菌だけを培養して同定することは困難です。そんな時でも、次世代シーケンサなら解析が可能です！



Ion GeneStudio S5 (左) Ion Chef システム (右)

製品や原料、水、環境モニタリングなど、幅広い用途に活躍します。菌が気になる・・・そんな時はお気軽にご相談下さい。



〒370-3511 群馬県高崎市金古町 1709-1

TEL 027-372-5111 FAX 027-372-5001

URL <https://www.get-c.co.jp>

E-mail 本社 info@get-c.co.jp